

羽ばたけ!



社会人1年生

和気あいあい、後輩指導の吉川さん(左)伊藤さん(右)

新潟医療センターニュース

第44号

発行 新潟県厚生連労働組合新潟支部
発行責任者 荻澤 仁

清々しい春風と共に、六十三名の新しい職員が当院に着任致しました。その中には、初めて社会に出る一年生も含まれています。おそろく見るもの聞くものすべてが新鮮に感じることでしょう。約ひと月が経過して、そろそろ「慣れた?」と聞いてみたくなりました。医事課(入院係)に配属された伊藤満里奈さんの奮闘ぶりをのぞいてみましょう。

優しい指導係からのエール

社会人となり一ヶ月が経ちそ

ろそろ疲れもみえてくる頃でしょう。ですが、そんなことを感じさせないフレッシュさで医事課を盛り立ててくれています

ね。そして、すでにムードメーカーとしての地位を確立しました。あなたがいると場が和みます。これからも砂漠の中のオアシスのような存在でいてください。

教わった事を記した勉強ノートもすでに二冊目に入っているのを私たちは知っていますよ。毎日が新しく、覚えることの連続かと思いますがパソコンの入力方法と保険点数の通則さえ覚えてしまえば、厚生連のどこへ行っても働けるようになります。やりがいのある医事課の業務ですので共にがんばりましょう。(記事/吉川)

新しい風と なれるように

四月より医事課に配属になりました、伊藤満里奈と申します。出身地は、新潟県糸魚川市です。大学時代は、マーケティングを専攻しておりました。

久しぶりに地元新潟に帰ってくる事ができ、また厚生連に入職する事ができたいへん嬉しく思っております。

現在、医療を取り巻く環境は複雑であり変革のときでもあります。そういった環境で新しい

緩和ケア病棟に 臨床心理士が配属されました!



臨床心理士 弥久保静佳

心の整理の
お手伝い

どうぞ
よろしく願います

四月から緩和ケア病棟に配属となりました、臨床心理士の弥久保静佳と申します。地元新潟で緩和ケアに携わる心理士になることが私の夢でした。まだまだ勉強中の身ですが少しでも早く患者さん・ご家族の皆さんにこのサポートをしていける存在になりたいと考えております。

さて、「臨床心理士」とお聞きになられても、一体どんなことをしてくれる人なんだろうと思われる方が多いのではないのでしょうか。「臨床心理士」は、皆さんの悩みや辛さを消してくれる魔法使いのような存在では残念ながらありません。

ん。しかし、皆さんの抱えている悩みや辛さを一緒に考え、「この心の整理のお手伝い」をさせて頂くことができるのではないかと考えています。緩和ケア病棟では、患者さんの自己実現をサポートし続け、ご家族の皆さんにも気軽に面談室に足を運んで頂ける環境を作っていきたいと考えています。

今後は、緩和ケア病棟だけでなく、医療センターを利用される皆さんのこころをサポートしていけるよう研鑽を積んで参りますので、どうぞよろしくお願い致します。

風となれるように努力していきます。地域医療に携われることに誇りを持ち、日々精進していきたいと思えます。皆さんに自分の名前と顔を覚えて頂けるよう一日も早く仕事を

覚えたいと思います。まだまだ慣れないことばかりですが、一杯頑張りますのでどうかよろしくお願ひ申し上げます。

事務員 伊藤満里奈